

ルート番号表示によるわかりやすい誘導

～道路利用者が、迷うことなくスムーズに目的地に到着～

(1) 指標の動向

■ 路線番号案内の充実

路線番号や路線名称による案内は、誘導の円滑性に優れ、土地に不案内な訪問者や外国人観光客等に対しても分かりやすいことから、路線番号方式による案内の充実を図る。

■ 平成 18 年度末は対前年度比 6 ポイントの増

都道府県道以上が相互に交わる交差点における路線番号が表示された案内標識の整備率は平成 18 年度末時点で 71% (対前年度比+6 ポイント) である。



【路線番号が表示された案内標識の例】

(2) 達成度報告と業績計画

■ 総合的な取組みの推進

路線番号案内について、効率のよい整備を推進するため、国道が交わる交差点を重点的に整備してきたところ (平成 18 年度実績 : 71%)。併せて、平成 16 年 12 月の「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」の提言を踏まえ、以下のような取組みを進めることにより、安全かつ円滑な道路交通の確保を図る。

- ・ 標識適正化委員会等における進捗管理や課題の検討
- ・ 交差点名の表示の充実及び道路地図・カーナビへの反映の検討
- ・ 案内標識に表示する地名の連続性・一貫性の確保及び道路ユーザーへの周知

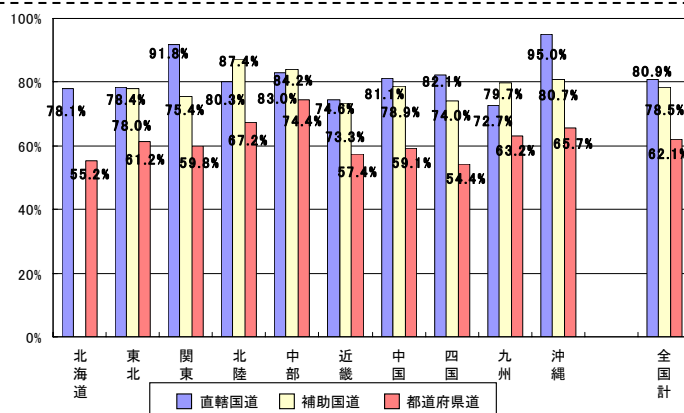
■ 「通り名で道案内」の社会実験の実施

通り名と、通りの起点からの距離を示す位置番号を用いて、地域に不慣れな人に対して分かりやすく道案内ができるようにする「通り名で道案内」について、全国 13 箇所では社会実験を実施した。今後も引き続き、試行的取組みによる検討を進める。

(3) 5 カ年の達成見込みについて

小型で簡易な標識による整備の導入等、効率的な整備により、進捗状況の伸びは年々増加し、4 年間で+24 ポイントの進捗見込みであるが、平成 19 年度末目標達成までは及ばない見込みである。特に整備率の低い都道府県道について、整備を加速させるため周知等を行うことが必要である。

H15 実績	H17 実績	H18 実績	H18 目標	H19 見込み	H19 目標
56%	65%	71%	78%	80%	90%



【都道府県道以上の交差点の路線番号整備率 (地方整備局等別)】



【「通り名で道案内」社会実験風景】

担当 : 道路局 企画課